

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和8年2月1日発行

12月定例会

No.

127



第7次鹿角市総合計画基本構想変更案を可決 . . . P 2

一般質問には13名が登壇 P 4

各常任委員会の審査状況 P10

議会運営委員会行政視察報告 P11

クローズアップ決算 委員会審査概要 P12

NANDARI KANDARI ・編集後記 P14

表紙の写真 1月11日に開催された令和7年度鹿角市二十歳のつどい

12月定例会

第7次鹿角市総合計画基本構想変更案を可決

12月定例会

令和7年第7回定例会を11月28日から12月19日までの22日間の日程で行い、市長より議案29件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員が提出した発議3件についても、原案のとおり可決しました。

また、9月定例会で決算特別委員会へ付託した令和6年度鹿角市一般会計及び各特別会計の決算認定案件4件について、委員会審査報告後に採決し、いずれも認定しました。本定例会に提案された議案等の審議結果や、議会の提出された陳情の審査結果については一覧を次ページに掲載しています。また、決算特別委員会の審査概要について

は、12〜13ページに掲載しています。

主な議案の審議内容

質問

第7次鹿角市総合計画基本構想の変更について将来推計人口は計画の基礎となる数値であるが、0歳から14歳までの年少人口の推計値について、実際の出生数の積み上げと比較すると大きく乖離している。これに対する考えを伺う。

答弁

先般改訂した人口ビジョンでは、令和12年度までの出生数目標値を904人としており、達成に向けて取り組みを進めていく。

議会から

関係機関への意見書

12月19日の本会議において、議員より提出

された意見書3件について、原案可決し関係機関へ提出しています。

◆夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書

◆ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求める意見書

◆小・中学校給食費の完全無償化のため、秋田県へ財政支援を求める意見書



市民アンケートを実施します

議会広報委員会では、ぎかいだよりを通じて市民の皆様と議会活動及び審議の内容を分かりやすくお伝えすることを目指してまいりました。

今後、より皆様に関わりやすいため、この度、紙面の内容や構成について皆様の意見を伺うアンケートを実施いたします。

「もっとこうしてほしい」、「ここが分かりにくい」など、率直な声をお聞かせください。なお、いただいたご意見は今後のぎかいだより作成のために活用させていただきます。

傍聴のご案内

議場での傍聴は、市議会の活動内容を知るための最も身近な方法です。市議会の本会議は一般の方に公開されており、本会議当日に市役所3階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴することができます。



傍聴の受付



ぎかいだよりアンケートはこちらから

令和7年第7回定例会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
物品の購入について（沼平橋仮橋資材）	原案可決
第7次鹿角市総合計画基本構想の変更について	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市先人顕彰館）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市中滝ふるさと学舎）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市八幡平地域連携営農推進団地）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市柴平地域活動センター）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市下川原地域活動センター）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市牧野）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市川島牧野）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市畜産総合振興団地）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市下川原市民農園）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市山根農村公園）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市大地平農村公園）	原案可決
指定管理者の指定について（鹿角市下川原農村公園）	原案可決
市道路線の認定について	原案可決
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市子ども・子育て会議条例の一部改正について	原案可決
鹿角市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原案可決
鹿角市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
鹿角市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
令和7年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
令和7年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
令和7年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
令和7年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
令和7年度鹿角市上水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
令和7年度鹿角市下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
令和7年度鹿角市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
令和6年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度鹿角市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
◇議員提出議案	審査結果
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書の提出について	原案可決
ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求める意見書の提出について	原案可決
小・中学校給食費の完全無償化のため、秋田県へ財政支援を求める意見書の提出について	原案可決
◇陳情	審査結果
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情	採択
ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める陳情	採択
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情	継続審査
最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情	継続審査
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情	採択
国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書提出の陳情	不採択
インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情	趣旨採択

問

戦後80年の節目、笹本市長の平和への考え方・取り組みについて伺う。

答

平和の礎となるのは、平和を愛し心豊かでたくましい人を育む教育にあると考える。市民生活を豊かなものとし、平和社会の実現を図る。



第7次鹿角市総合計画後期基本計画とまちづくりについて

問

総合計画とコンパクトシティ構想が

まちづくりのソフトとハードの両輪として機能すべきではないか。

答

第7次総合計画に「コンパクト・プ

ラス・ネットワーク型都市の構築」として位置づけ、人口規模に見合うよう、スピード感を持って施設の再編・配置の見直しを進める。市全体としての利便性と持続可能性を確保し、将来世代に責任

を果たす都市経営を力強く推進する。

給食における地場産品の使用状況等について

問

地元食材の積極的な使用は食育や地

産地消の推進に加え、食材費の高騰対策としても有効と考えるが、市の今後の方針は。

答

地場産品活用率は県内で3番目に高

く、地産地消と結びついた食育の推進にも取り組んでいる。昨今の物価高騰の影響は受けているが、「みどりの食料連絡会」から地元の新鮮な野菜等を良質な価格で提供いただいている。会員の減少や高齢化の進展もあり、今後は供給量の減少が懸念され、供給体制維持が課題である。

質問した項目

- 平和な世界を希求・堅持する地方からの取り組みについて
- 第7次総合計画後期基本計画とまちづくりについて
- 物価高騰対策及び地場産品等について
- ほか

佐藤 大介 議員 (鹿真会・公明)

質問時間 30分



録画配信はこちらから

問

除雪作業の負担軽減のため、路線見直しや日中迂回路がある場合や空き家のみの路線廃止、日中除雪を実施する等様々な手段を検討する。

答

除雪作業の負担軽減のため、路線見直しや日中迂回路がある場合や空き家のみの路線廃止、日中除雪を実施する等様々な手段を検討する。



将来を見据えた地域づくりについて

問

本市の人口減少・働き手不足は既に

深刻な段階にある。市が担える業務が縮小する中、今後行政サービスをどう維持していくのか、市の目指す姿や方向性を伺う。

答

第7次総合計画後

期基本計画で行政サービスを持続可能とするための基本方針を策定中である。また、市民の協力も不可欠であり、行政サービスの代替や補完を含め、本市のまちづくりの理念

少年議会の創設について

問

少年議会は将来の担い手育成につな

がる未来への投資と考えるが、市の検討状況や方向性を伺う。

答

少年議会は地域課題を自分事として

捉え、行動し、公共の意思決定に関与できる貴重な場として、子供たちの成長に大いに資すると考える。現在、本市に適した事業モデルを検討中であり、若者が主体的に政策提案し、その成果を実感できる仕組みを目指し、市民理解の醸成を図りながら次年度の事業化に向け、取り組む。

質問した項目

- 将来を見据えた地域づくりについて
- 除雪作業の体制変更について
- 有害鳥獣対策について
- 農業支援について
- ほか

網木 裕一 議員 (新時代かつの)

質問時間 45分



録画配信はこちらから

問 休日の在宅当番医利用時に薬の購入が困難であり、当番薬局が必要と思うが、市の考えは。

答 在宅当番医制度に合わせた当番薬局開設の必要性は市も認識しており、要望も受けていることから、令和8年度の実施に向け検討している。



熊への対策と安全安心な市民生活について

問 熊による人身事故が多発しているが、農業・産業への経済的損失に今後どう対処していくか。また、市民生活の安全をどう守っていくのか。

答 本市では今年3月にツキノワグマ管理実施計画を策定し、市内5カ所を管理強化ゾーンとして管理捕獲を行ってきた。県内でも同様に出没、被害が多発していることから、県知事が国に自衛隊派遣を要請し、本市

においても箱罾の運搬などの支援を受け、市としては管理強化ゾーンにおける管理捕獲のための支援策について情報収集に努め、確実に実施していく。

また、生息頭数、生息状況がある程度正確に把握された段階で、生息頭数に見合った捕獲目標を立て、人員配置、体制整備を図りながら被害低減に向け実効性のある管理捕獲を実施していく。

併せて、出没の要因を減少させる環境管理の継続も必要であることから、生活圏での誘引物の除去、緩衝帯の設置、電気柵の適切な設置など、基本的な対策を粘り強く行っていく。

質問した項目

- 熊への対策と安全安心な市民生活について
- 畜産業における肉用牛生産の担い手、労働力不足について
- 在宅当番薬局について
- 豊真木沢川改修工事について



録画配信はこちらから

宮野 和秀 議員 (誠心会)

質問時間 30分

一般質問 宮野和秀議員(誠心会)

問 医療ビジョンに、県との定期協議実施や支援依頼先の平準化を盛り込むべきではないか。

答 県とは様々な角度から協議を重ねてきた。医療ビジョンの実効性向上には県の協力が不可欠であり、今後はより密接に連携していく。



新たな医療ビジョン策定について

質問した項目

- 持続可能な鹿角市に向けて
- 鹿角市景観条例の改正について
- 市民アンケートによる男女共同参画への市民意識について

問 遠隔診療や、医療Maas等による地域へ出向く診療の実現等、ICT活用の医療に取り組むことを医療ビジョンへ盛り込むべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 現時点では医療機関相互の体制構築から検討が必要と考えられる。医療Maasについても関心はあるものの費用対効果や実施主体のほか様々な課題があることを認識している。ICTを活用した医療

提供については医療機関の意見も踏まえながら取り組んでいく。

問 持続可能なまちづくりへの財源捻出には痛みを伴うが、行政はどう努力するのか。また、市民・職員に求める具体的な内容と実施に向けての覚悟を伺う。

答 公共施設の廃止・統廃合が喫緊の課題であるが、利用を継続する施設はサービス向上に努めていく。職員には一人ひとりが経営意識を持ち、自ら研さんして能力を最大限に発揮し、市民サービス向上の質の向上と効率的な行政運営を進めるよう求めていく。



録画配信はこちらから

丸岡 孝文 議員 (無党派)

質問時間 30分

一般質問 丸岡孝文議員(無党派)

問 鹿角アメニティパークの施設を「多目的人工芝グラウンド」にできないか。

答 旧学校施設であり、外構に十分なスペースが確保できないことや人工芝の張替などのコストが高額なことから、転換は難しい。



鹿角高校への支援策について

問 2024年出生数が70人を切ったが、今後の鹿角高校の生徒数の推移をどのように捉えているか。

答 令和22年度の生徒数は約250人規模、現在の半数程度の見込みであり、学校運営や教育環境の維持が非常に厳しい状況が予測される。

問 市外出身生徒の受入支援と市内在住生徒への支援策は。

答 令和8年度から「鹿角高校魅力化

構想」の策定に着手し、魅力ある高校づくりを進める。先行的な取り組みとしてスキー部と陸上競技部生徒の下宿等の費用補助の拡充を検討している。

問 基本構想案にある「魅力ある学びの場づくり」の具体策は。

答 どのような力を身につけていくのか、将来ビジョンを明確にし、行政・学校・市民など多様な主体の意見を取り込み、鹿角高校の魅力化に向けた基本方針を策定し、具体策は鹿角高校魅力化推進計画に位置付けて取り組みを進めたい。

質問した項目

- 鹿角高校への支援策について
- 鹿角アメニティパークの施設整備について
- 子供の遊び場の充実について
- 4つの世界級遺産について
- 鹿角市定期市場の活性化について
- ほか



録画配信はこちらから

中山 一男 議員 (鹿真会・公明)
質問時間 60分

問 「魅力ある鹿角の情報発信に関する提案書」についてどのような評価をしているか伺う。

答 改善策の提案に感謝するとともに、今後の取り組みを進める上で参考となる提案であると評価している。



有害鳥獣対策について

問 熊対策の予算規模と不足部分について伺う。

答 有害鳥獣の捕獲等、緩衝帯整備、誘引樹木伐採補助、電気柵設置等の補助に計4310万2千円を予算計上している。鳥獣被害対策実施隊に係る経費に不足が生じる可能性もあるが、補正予算で対応していく。

問 熊対策に特化したふるさと納税に対する評価と実施の考えを伺う。

答 ふるさと納税寄附金を「ふるさと鹿角応援基金」に積み立て、総合計画に沿って活用しており、有害鳥獣対策はその対象事業である。さらに返礼品なしの寄附募集をしており、熊対策に特化した寄附募集も準備が整った次第、開始する。

問 メディアによる過剰報道等の情報発信の在り方の認識を伺う。

答 今年度は熊の出没が多くなり注意喚起を実施した。観光客は増加傾向で熊によるキャンセルは少ない状況である。風評被害を防ぐため、対策周知と情報発信を強化し、来年も観光事業者と連携して安全確保に努める。



録画配信はこちらから

問 市役所前の川に土砂が増え、しゅんせつ等の管理が必要と見えるが、市の考えは。

答 土砂しゅんせつについては市役所前から上流は完了し、下流は来年度までの完了を目指す。完了後に堆積状況を確認しながら再度計画する。



農業問題について

問 水田活用の直接支払交付金について、国は5年間の水張りルールを見直した。畑地化6年目以降、交付金の支援がなければ、多くの耕作放棄地が生まれる可能性があるが、市の対策は。

答 現在、国による新たな水田政策の詳細は示されていない状況である。本市としては今後示される情報を注視しながら、必要に応じて国等へ要望を行っていく。

鳥獣被害について

問 今年度、熊による多方面への被害が発生したが、市として今後どのような抜本的対策を考えているか。

答 本市では、今年度箱罾を5基増設、44基体制で捕獲を行い、11月末で昨年度より250頭多い300頭を捕獲している。今後は本格的な冬の到来となるが、警戒を緩めず対応することはもとより、猟友会や警察等関係機関と連携した活動に取り組みとともに、市民に対する意識啓発・注意喚起を粘り強く行い、人身被害及び農作物被害防止と併せ、熊が人の生活圏に出没しない環境づくりを進めていく。



録画配信はこちらから

浅石 昌敏 議員 (誠心会)
質問時間 30分

- 質問した項目
- 総合運動公園の利用料金について
 - 危機管理について
 - 農業問題について
 - 鳥獣被害について

問 熊出没増加を踏まえた空き家の発生予防対策について伺う。

答 空き家の発生予防について啓発しているほか、今後は管理・利活用を一体的に推進する方策を検討していく。



ふるさと納税について

問 熊対策を目的としたふるさと納税は、地域の安全対策に必要な財源を確保するとともに、市民や支援者が取り組みに参画できる仕組みとして全国に広がっている。本市においても、熊対策に特化した制度導入を検討する考えはあるか。

答 本市では、ふるさと鹿角応援寄附金を基金に積み立て、総合計画に沿って、有害鳥獣被害防止対策に充当できる。今後は、熊被害の防止や捕獲対策への理解と賛同を広く

国際交流について

問 本市の財政状況を踏まえ、ショプロン市との交流事業について、行政訪問団受け入れや語学指導員派遣の現状、今後の交流の方向性について市の考えを伺う。

答 ショプロン市長とは、語学指導員の派遣継続のほか、交流の発展について合意に至っている。今後は限られた財源の中、交流事業の在り方を検討しながら、姉妹都市を有する利点を市民が実感できるように、市民交流の充実に努めていく。



録画配信はこちらから

安保 真希 議員 (無会派)
質問時間 30分

- 質問した項目
- 空き家対策について
 - ふるさと納税について
 - 国際交流について
 - A L T (外国語指導助手)の雇用体制について

問

産院が無くても安心して出産できる環境整備のため無痛分娩費用補助を設ける考えがあるか。現状、妊婦が自由に医療機関や分娩方法を選択できる状況にはないため、制度創設は時期尚早と考えている。

答



ない。直ちに新たな制度を設ける予定はないが、実態なども踏まえながら支援の必要性について検討していく。

小中学校での熊対策について

問

熊出没の影響により、体育の授業や休日の屋外活動が制限され、児童生徒の心身の健康への影響が懸念される。心身の健康を維持するための具体的な対策について伺う。

答

市教育委員会としても、子供たちの体力低下やストレスの増大が懸念される状況と認識している。状況に応じて屋外での活動に切り替えるなど、適切な対応がなされるよう、引き続き各校に働きかけていく。

質問した項目

- 無痛分娩に関して
- 小中学校統廃合に関する鹿角市の考え及び展望について
- 小中学校でのクマ対策について
- 義務教育におけるクロスカントリースキー用具の購入・レンタル補助等に関する保護者負担軽減について



QRコードはここから

問

子育て短期支援事業の利用実績とその評価を問う。実績は過去1件のみ。委託先が市外1施設に限られ利用が進まなかったため、現在は市内の里親や児童養護施設を追加している。

答



こども計画について

問

不登校児童生徒数が年々増加しているが、どのような対応をしているか。

答

本市の不登校出現率は、全国及び県の平均より低いが増加傾向にある。「こもれび教室」では、学習意欲を高めながら、自立心や社会性等を育て、学校生活に復帰する手助けや居場所づくりに努めている。「こもれび相談」では、臨床心理士が悩みを抱える児童生徒と保護者の相談活動を行っている。

質問した項目

- こども計画について
- 空き家対策計画について
- ツキノワグマ被害防止等について
- ごみ処理の広域化について

問

また、関係機関との情報交換や、毎月のいじめ・不登校調査による状況把握のほか、県からスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが派遣され、児童生徒の支援を行っている。

問

こころの健康づくり推進事業では、児童生徒への講座の実施により、どのような効果が得られているのか。

答

SOSの出し方講座は、子供たちが問題や悩みを抱えた時に、相談して援助を求める力や、生きるためのスキルの向上を目的とする。受講後、子供自身が相談したことで解決につながった事例もある。



QRコードはここから

奈良 明日香 議員 (新時代かづの)

質問時間 30分

成田 哲男 議員 (誠心会)

質問時間 30分

問 熊出没による登下校時の安全確保についての新たな取り組みは。

答 学校周辺に熊が出没した場合は登下校時に合わせ警察にパトロールを依頼しているほか、教育委員会職員による見守り等対応している。



問 飼い猫の正しい飼い方の啓発と野良猫対策について

答 飼い猫を完全室内飼育にすることは猫同士の感染症のみならず、人畜共通感染症抑制の効果がある。広報で猫の適正飼育に関する効果のある呼びかけをしてはどうか。

問 県動物愛護センターと連携し、適切かつ責任を持った飼い方について、県と市においてそれぞれの役割分担で対応しているが、引き続き広報誌等により周知していく。



録音時間は1つが2つ

質問した項目

- 飼い猫の正しい飼い方の啓発と野良猫対策について
- 熊出没による学校・通学路等における安全確保について
- 本市のいじめの実態把握と早期対応について

保田 直美 議員 (無会派)

質問時間 30分

問 地域の人手不足解消に向け、市職員の休暇制度改正・兼業制度創設状況は。

答 休暇制度はまず有休取得の向上を目指す。地域活動への参加は有意義と考えるため、基準を設定し、職員が積極的に参画できるように努める。



問 市職員の働き方改革について

質問した項目

- 市職員の働き方改革について
- 熊出没下における子供たちの安全確保について
- 文化財活用地域計画について

問 一部自治体での先行事例もある週休3日制だが、多様な働き方を可能とすることや職員のキャリア形成や職務遂行力の向上を図るため、同制度導入について市の考えを伺う。

答 導入した場合、勤務時間が長くなることによる健康への影響や、配置部署によって選択できない場合もあり不公平感が生じるなどの懸念があることから、まずは先行事例

について情報収集していく。

問 文化財活用地域計画について

答 厳しい財政状況の中、収入増が課題と考える。文化財活用と考える。文化財活用地域計画策定を契機に本市が誇る文化財の魅力を上向きに、観光や他産業と連携しながら外貨獲得による収入増を図るべき。そのためには組織改編が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 来年度からの後期基本計画では「世界遺産のまちを活かす」経営戦略へ発展させることとしており、旧来の文化財の保存に加え活用、誘客を担う部署との連携強化が不可欠と考えている。



録音時間は1つが2つ

問 国の物価高騰対応のうち「重点支援地方交付金」に対する現時点での本市のプランは。地域経済の波及効果も考慮し、広く市民に行き渡る支援も含め、効果的な物価高騰対策となるよう取り組む。



学校教育環境について

問 多様化していく不登校への対応としてまだまだできることがある。不登校対策について市単独では限界がある要素については、国や県へのより強力な要望が必要ではないか。

答 近年は不登校の背景が複雑で一人ひとりに適した支援が求められているため、学校間の情報共有や関係機関との情報交換を密に行い、ニーズの高いスクールカウンセラーの配置拡充などについて国や県への要望を

継続する等、様々な対策を講じながら、児童生徒に寄り添った指導や支援に努めていく。

問 今後の鹿角市存続への様々な課題解決のために財源確保は欠かせない。そこで、短期的・飛躍的に財源確保を可能とするふるさと納税へのさらなる強力な取り組みが必要ではないか。

答 様々な課題がある中で他自治体と比較される寄附金額の設定を抑え、返礼率を上げるなど、本市が寄附者から選ばれる方策を引き続き検討していくとともに、中間管理事業者と共に新たな返礼品となる商品開発や返礼品提供事業者の新規

開拓を強化していく。

質問した項目

- 政府補正予算案への対応について
- 学校教育環境について
- 地域間交流について
- ふるさと納税について



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員 (新時代かづの)

質問時間 60分

[議案第59号] 第7次鹿角市総合計画基本構想の変更について

問 なぜ後期基本計画の策定に先立って基本構想を変更するのか。
答 基本構想は本市の最上位の計画である。先に基本構想を変更し、それに沿って、令和8年度以降の後期基本計画及び全ての個別計画をつくる考えである。

問 今回の変更は文章の手直しと数字の更新が中心のようだが、どのような考え方で判断したのか。
答 本基本構想は令和2年12月に議会の議決を経て定められたものである。議決を経たということは重く受け止めるべきと考え、必要最低限の変更にとどめている。

[議案第80号] 令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第6号)

問 (地域情報化推進対策費) 市内の光ファイバーケーブル整備によるインターネットの接続可能率は。
答 住民がいる宅地・住宅であれば、光ファイバーケーブルによるインターネット接続が全て可能な状態であり、接続可能率は100%である。

[議案第60号] 指定管理者の指定について (先人顕彰館)

問 施設利用者を増やす取り組みを検討すべきではないか。
答 今年度策定した文化財保存活用地域計画に基づき、今後、先人を顕彰するより効果的な方策について検討を進めていく。

[議案第77号] 鹿角市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

問 具体的な虐待事例があるのか。また、報告体制はどのようになっているのか。
答 現在まで虐待の報告はない。虐待発生時には、各施設の園長から市へ報告される体制である。

[議案第79号] 鹿角市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

問 市で想定している乳児等通園支援事業の区分は。
答 市内保育施設の定員は890人で現在の利用者数はおおよそ3分の2であり、余裕がある状況から余裕活用型を進めていきたい。

[議案第61号] 指定管理者の指定について（鹿角市中滝ふるさと学舎）

問 現在までの利用者数の推移は。

答 平成22年度の開設当初は年間約9,000人であったが、徐々に利用者が減少し、令和2年度には約5,500人となった。コロナ後は回復基調となり、今年度は約6,000人の見込みである。

[議案第68号] 指定管理者の指定について（鹿角市下川原市民農園）

問 市民農園の利用状況は。

答 全11区画のうち、例年7から8区画の利用状況で推移している。毎年継続して利用される方もおり、中には本市に転勤してきた方も利用している。

[議案第80号] 令和7年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）

問 （農業振興費） 農業支援サービス育成対策事業費補助金の事業内容は。

答 令和6年度の国補正予算に係る補助金であり、受委託契約に基づく農作業代行や人材派遣、農業機器のレンタル事業等を行う事業者に対し、必要な機器の導入費用を支援するもの。

問 （除雪対策費） 今回の除雪単価の改定内容と地区に除雪を委託する際の除雪単価は。

答 市の除雪単価は毎年11月に公表される国の単価に基づき改定しており、今年度は、標準的な規格の除雪ドーザで1時間につき300円作業委託料を引き上げている。また、地区に除雪を委託する際の除雪単価は、市の除雪ドーザの作業委託単価による算定方式を採用している。

○議会運営委員会行政視察
（宮城県登米市、岩手県北上市）



登米市議会にて

登米市議会では、常任委員会が自らテーマを設定し、市の事務事業を分析・検証する仕組みを確立している。評価軸を明確化し、多段階の議論を経て結論を導くプロセスにより、議員の政策判断力や合意形成力を高め、市民に「議会が行政のパートナー」として、より良い市政をつくる役割を果たしている」というメッセージを発信している点が印象的だった。結果はグラフ等で見える化することで、市民に分かりやすく議会活動を伝える工

夫もなされている。評価が政策提言に直結する点は議会改革の好例だが、条例制定には法的専門知識が不可欠であり、継続的テーマへの取り組みが難しい点や評価後のフォローアップ体制の強化が課題とされ、仕組みづくりが求められている。北上市議会は、政策提言制度を導入している。この制度は議会が地域の課題の解決に関わるための枠組みとして非常に優れていると感じた。総合計画と連携し、市民生活に密着したテーマを設定することで行政との協働が円滑に進んでいる。雇用・福祉・教育・交通など幅広い分野で提言を行っており、全会一致で採択される厳格なルールは議会としての責任と重みを示し、提案型議会として参考となった。委員会調査や市民との意見交換を継続し、実行性を高められているが成果検証や市民参加拡大が今後の課題であり、提言の反映を検証する仕組みの整備が求められる。

両市議会はいずれも自立した議会運営を実現し、登米市は評価型、北上市は提案型として改革を進めている。鹿角市議会においては両者を組み合わせた循環型の政策形成サイクルの構築が有効であり、市民参加や情報発信をより充実させることが求められる。（館花一仁）



北上市議会にて

（派遣委員）

館花一仁 湯瀬弘充

浅石昌敏 綱木裕一

佐藤大介

児玉悦朗（オブザーバー）

丸岡孝文（オブザーバー）



決算特別委員会（佐藤大委員長）を令和7年10月6日及び7日の2日間開催し、令和6年度決算について詳細な審査を行いました。認定案件4件の審査を行った結果、いずれも認定すべきものと決しました。審議・意見の主なる内容をご紹介します。

一般会計（歳入）

質問 市税の不納欠損の要因と今後の対応は。

答弁 処分額は前年度比16万円減の1897万円余りである。要因として生活保護・困窮・住居所不明等が大半で今後も実態に即した滞納・債権管理に努める。
（意見） 納税意欲を損なわないよう公平性を保ち、十分な調査の上で対処いただきたい。

質問 廃校等の遊休施設の賃付方法の見直しを図れないか。

答弁 旧校舎は施設管理や防火基準の問題から一体的運用が前提であり、全棟貸しにならざるを得ない。旧末広小

学校は市内企業から貸付の打診があることから市としても積極的に対応していく。

一般会計（歳出）

質問 指定管理者制度の庁内共通ガイドライン策定及び指定管理者の評価、結果の公表はできないか。

答弁 指定管理者の選定については選定委員会で個別に審査している。ガイドラインや評価の公表について今後、検討していく。

質問 鹿角キャンパス構想について、卒業生との連携等事業の磨き上げをできないか。また、事業報告会に市民参加を促すための方策や周知方法は。

答弁 今後の事業継続に向け、地域・大学双方に利益が得られる仕組みの構築について追求していく。取り組みの中で武蔵野大学の学生にも鹿角家U25の取り組みに参加いただいたり、関係人口としてつながりを持つことができている。報告会で周知、報告書はホームページで公開してい

るが、市民が参加しやすい時間帯での開催も今後検討していく。

質問 出会い応援事業へ伝統行事を活用できないか。

答弁 KPIを設定し、国の承認を得れば、花輪ばやしなどの伝統行事を活用することは可能である。伝統行事の承継と魅力のPR、結婚支援、人口減少対策をKPIとして計画に位置付けはできるが、民間事業に対する出会い創出事業補助金による支援とのすみ分けを検討する必要がある。

質問 令和6年度のコンビニ交付の利用実績は。また、今後どのような方法で市民に周知していくのか。

答弁 所得課税証明書19・2%、住民票14・6%、印鑑証明15・1%であり、今後ともホームページでの周知に加え、窓口での封筒配布により周知していく。

質問 会食サービスクラス委託料の在り方も踏まえた今後の敬老事業をどのように考えているか。

答弁 会食サービスクラス委託料は高齢者の交流を目的としているため、今後も継続していく。敬老事業については令和8年度予算編成で統廃合も検討している。

質問 かつの厚生病院を含む今後の地域医療ビジョンの方向性は。

答弁 関係機関や市民等と意見交換を行いながら、実現可能な医療機能について今後2年間の医療ビジョンを示していく。
（意見） 単に財政支援だけでなく、事業効果や市民の望む医療体制の確保が図られるよう、慎重に策定を進めていただきたい。

質問 「ナトカリ2・0作戦」について、熱中症対策として血圧降下薬服用の方向けに塩分摂取量の目安を周知できないか。

※KPI（重要業績評価指標）
 目的達成に向けたプロセスの進捗状況を定量的に評価・分析するための指標のこと。

答弁 血圧降下薬の種類によりバランスは異なるが、今後服用している方の対策にも配慮しながらナトカリ測定を行っていく。

質問 使用済小型電子機器等リサイクル回収実績とリチウムイオン電池の今後の回収方針は。

令和6年度回収実績はこでん回収ボックスは1120kg、イベント回収事業では1790kgである。リチウム電池の回収は今後体制の構築を検討していく。

質問 企業力強化促進事業の定量的成果は。

答弁 令和6年度にトヨタ生産方式を参考に取り組んだ市内企業で生産効率が130%に向上したとの報告を受けている。

(意見) KPIの成果測定は事業成果の聞き取りする際、定性的より定量的成果により表していただきたい。

質問 除雪事業者やオペレーターが年々減少しつつあると聞くが、今後の除雪計画の

策定方針及び解決方策は。

答弁 除雪委託業者とオペレーターが年々減少することが想定される中、住民共同の取り組みを支援していかなければならないとの危機感を持っていく。まずは先行事例に取り組み、そこから横展開していく解決策も探ってまいりたい。

質問 部活動地域移行推進事業の令和6年度の取り組み状況は。

答弁 令和6年度は卓球、ソフトテニス、吹奏楽の3団体を選定し、活動した際の課題等の検証を行い、令和7年度から進める地域移行計画の策定を行った。

質問 多くの市外転出者が二十歳のついで帰省する機会を有効活用し、鹿角家U25等の取り組みとこれまで以上に有機的に結びつく仕組みづくりができないか。

答弁 二十歳のついで開催の案内状を送付する際に鹿角家U25のチラシも同封しているが、登録者までは把握していないことから、今後検討し

ていく。

一般会計全体への意見

今年度、鹿角市では、公共施設等管理計画の改訂や行政経営基本方針を策定し、持続可能な行財政運営を進めようとしている。前例踏襲に徹するのではなく、市長のリーダーシップの下、事務事業の目的を達成したものは思い切ったスクラップ・アンド・ビルドを進め、新たな行政課題の解決に向け、貴重な財源を振り向けることを大いに期待している。

国民健康保険事業特別会計

質問 特定健康診査事業について、若年者健診の受診率と今後の対応は。

答弁 令和6年度の若年者健診受診率は14・2%であり、まだまだ低い状況にある。健診の意義を丁寧に周知していくとともに、従前の集団健診に加え、市内医療機関で健診することも実施内容に加えるなど、受診しやすさを周知しながら受診率向上に努めていく。

介護保険事業特別会計

質問 保険給付費について、施設入居者は相応のサービスを受けられるものの、在宅介護者はそうではないとの話もあるが、現状はどうか。

答弁 市では介護保険事業計画に基づき、施設や在宅介護サービス給付費の計画を定め、介護保険を運営しており、令和6年度はサービス利用回数が若干減っている状況で、休業した事業者もあつたものの在宅サービスのニーズは満たしていると捉えている。



まちのことをゆる〜く解説

Nandari Kandari

鹿角市議会 なんだりかんだり



議会ってなあに？ ～議会は、市の「アドバイザー」～

「議会」と聞いて、何を思い浮かべますか？

「あれでしょ？岩とか葉っぱに見える生き物でしょ」と思ったそこのあなた！（※それは擬態です）

議会は、鹿角市のルールやお金の使い方を決める組織です。市長が「こうしたい！」と考えた計画に対して、議員たちが「それいいね！」と言うこともあれば、「それ本当に大丈夫？」「こっちの方がいいんじゃない？」と市民の代表として話し合っているんです。



たとえば…

- 除雪費用は、これで足りる？
- 学校の給食、もっと良くできない？
- お祭りの花火に、市がお金を出すのはアリ？

…そんなことが、ちゃんとまじめに（ときに白熱しながら）話されています。

クイズコーナー ○×でわかる議会のこと

- 01 鹿角市議会は年に1回だけ開かれる。
- 02 市長の言ったことには全部「はい」と答えるのが議会だ。
- 03 市議会議員は、鹿角市の市民が選ぶ。
- 04 議会では、鹿角での暮らしに関わることがたくさん決められている。



定例会は鹿角市の条例で年4回と決まっています。必要がある場合には、臨時会が開かれることもあります。



議会は市民の立場でしっかりチェックします。



選挙で選ばれる「市民の代表」です。



保育、道路、除雪、図書館など…意外と身近なことを決めています。

ひとこと

「議会って、思ったより自分に関係あるかも？」
そう感じてもらえたら、もうあなたは“議会のフォロワー”です。
次回は「定例会ってなあに？」を予定しています！

編集後記

今回の議会だよりも、編集者の熱い思いがこもった内容となった。思いは、いかに市民に受け入れてもらえるか、このことに尽きると思う。

ある企業のミーティングで「シャウトアウト（感謝の表明）」という時間を設けた。ルールは一つ。どんな些細なことでもいいから最後に「ありがとう」と言えるエピソードを共有すること。全員で目の前の「小さな感謝」を探すことを心掛けた。それまでは、仕事の課題ばかりに目が行きがちで、互いの主張がぶつかり合っていたと話す。どんな記事にも思いを大切にどんな記事にも「ありがとう」と言えるよう心掛けたものだ。

（兎澤）

議会広報委員会

- 委員長 赤坂 勲
副委員長 松村 祐磨
委員 宮野 和秀
委員 兎澤 大介
委員 佐藤 大介